

企業に

ちょっと気になる、お隣さん。

フェード イン
Fade In



遠州綿紬は、ロフトやハンズ、
紀伊國屋や丸善書店、ホテル等の
催事やポップアップに引っ張り尻！



■有限会社ぬくもり工房
浜松市浜名区染地台3-12-25
TEL.053-545-6391

受け継がれる想いと技術を大切にしています

伝統工芸品「遠州綿紬」を世界に発信！

ぬくもり工房は、伝統工芸品「遠州綿紬」を全国に発信している会社です。三ヶ日町にある「^{うぶぎぬ}初生衣神社」は、平安時代末期から、神に捧げる衣服として絹を織り、伊勢神宮に奉獻を続けてきました。その後、絹から綿に変わり、遠州地方は一大綿織物の産地として発展。機織りの神様のゆかりある土地で遠州綿紬を受け継いでいるのが、ぬくもり工房です。

「会社は2006年に設立。2013年に染地台に本店を構えました。旅先で、どこに行っても同じチェーン店ばかりだと寂しいものですが、その土地に根ざした、その土地ならではの店には魅力があります。ぬくもり工房は、遠州の伝統文化や技術を体感できる店として、全国に発信し、存在価値を高めていきたいと思っています。現在では、県外からのお客さんも増え、私が目指していたものが形になってきたと感じています」と語るのは、大高社長。アンテナショップは、ロフトやハンズ、書店、ホテルなど24箇所。イ

ベントや催事が全国各地で展開されています。

人気のアイテムは、遠州綿紬ハンカチ。

江戸時代から続く伝統の温かみと柔らかい肌触りを兼ね備えており、卒業式の記念品としても好評を博しています。さらに、新しい試みとして、遠州綿紬を紙で裏打ちした高級壁紙にも挑戦中。遠州の職人が誇る伝統技術を現代のインテリアに昇華させたオリジナルの風合いを世界中の空間に届けたいと語っていただきました。

また、大高社長は学校(小中高)に出向き、特別授業や生地を使ったうちわ作りなどのワークショップも行うなど、社会貢献にも尽力されています。



代表取締役 大高 旭氏



多くの人を笑顔にしたいとの思いから起業！

自分がプロデュースした空間で、

間瀬友哉代表取締役は東海調理師専門学校卒業後、BARのオープニング店長等を任される等、現場で指揮をしながら経営も学び、26歳でBar WABI to SABIをオープンし、念願の独立。コロナ禍での厳しい経営を経験後、30歳で和バルRiQをオープン。現在、スナックMel's合わせて3店舗を経営しています。

和バルRiQは、内装やメニューのすべてに、間瀬社長のこだわりが溢れています。例えば、馬刺しは大半のお店がカナダ産なのに対して、熊本からの取り寄せ。味、品質、鮮度管理において最上級の馬刺しを提供しています。また、看板メニューのレモンサワーはレモンを丸ごと使って熟成させた自慢の逸品。静岡茶割は森町のいしだ茶屋とのコラボで誕生した人気ドリンクです。フットワークも軽快で、地元の漁師さんと契約を結ぶため、朝3時から船に乗ってお手伝いをする事で、新鮮な魚を定期的に仕入れることができるように



代表取締役 間瀬 友哉氏

和風居酒屋、Bar、スナック、3店舗を展開 それぞれの空間に、情熱とこだわりが 息づいています



■株式会社DYT

浜松市中央区北島町 78 番地
和バルRiQ
浜松市中央区鍛冶町100-1ザザンティ中央館1F
Casual Bar WABI to SABI
浜松市中央区千歳32 ヴィラージュ 3F
スナックMel's
浜松市中央区千歳32 ヴィラージュ 5F



なったとか。和バルRiQをより良い店舗にしていくために、質の良い食材の確保を最優先に考え、実践されています。和バルRiQは最大30名の宴会でお店貸切。6,000円で飲み放題とお得なプランをご用意。土日はランチタイムも営業し、昼飲み客で賑わっています。

間瀬社長は基本的にCasual Bar WABI to SABIに常勤されているとのこと。常連の方に上質なサービスを提供するため紹介制の隠れ家的なBarですが、東法人会の会員と伝えれば入店OK。是非、ご利用ください。



募集中

このコーナーで紹介させて頂く事業所を募集しています。企業から個人商店まで、お気軽にご応募ください。ご都合に合わせて取材させていただきます。尚、会員の方は掲載無料です。

浜松東法人会

TEL.053-453-4549 FAX.053-457-3729
info@hamamatsueasthojinkai.or.jp